

科目ナンバー： BB2011

授業コード： 2220200100

講義科目名称： 形態機能学I

英文科目名称： Physiology and Anatomy I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員			
◎堀江正男			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】 ◎堀江 正男	【所属】 新潟県立看護大学	【研究室】 315	【メールアドレス】 mhorie@niigata-cn.ac.jp
	【本学の科目区分】 専門基礎科目			
	【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程			
	【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ◎			

到達目標	医学を修める上で基本となる人体の正常構造と機能を理解し、説明できる 1. 形態機能学総論 ・ヒトの体の階層性を説明できる ・ヒトの体の位置関係を適確に説明できる ・ヒトの体の断面を適確に説明できる ・ヒトの体表区分を正しく説明できる 2. 神経系 ・中枢神経系と末梢神経系の構成を説明できる ・脊髄、脳幹、間脳、大脳の構造を説明できる ・脳の機能局在を説明できる ・交感神経系と副交感神経系の構成、その機能と伝達物質を説明できる ・脳神経の名称と機能を説明できる ・視覚器、聴覚器、平衡感覚器、嗅覚器、味覚器の構造および各感覚器の受容機序を説明できる 3. 骨・筋系 ・骨の基本的な構造と働きを説明できる ・ヒトの脊柱、胸郭、上肢、下肢、頭蓋を構成する骨とその構造について説明できる ・ヒトの関節の運動をあらわす用語を説明できる ・骨格筋の構造を説明できる ・体幹筋群、四肢の筋群、呼吸筋の構成、作用を説明できる
------	--

授業概要	正常な人体の構造と機能について、細胞・組織・器官および器官系まで統合して理解する
------	--

授業計画	1 解剖生理学のための基礎知識 授業形態：対面 学習課題：解剖生理学のための基礎知識 学習内容：構造からみた人体、人体の様々な器官 事前学修：テキスト p. 8 ～ p. 27 を予習する 事後学修：授業で学習した内容を復習する 2 解剖生理学のための基礎知識 授業形態：対面 学習課題：解剖生理学のための基礎知識 学習内容：素材からみた人体 事前学修：テキスト p. 27 ～ p. 40 を予習する 事後学修：授業で学習した内容を復習する 3 解剖生理学のための基礎知識 授業形態：対面 学習課題：解剖生理学のための基礎知識 学習内容：素材からみた人体 事前学修：テキスト p. 41 ～ p. 54 を予習する 事後学修：授業で学習した内容を復習する 4 情報の受容と処理 授業形態：対面 学習課題：情報の受容と処理 学習内容：神経系の構造と機能、脊髄と脳 事前学修：テキスト p. 358～ p. 371 を予習する
------	---

	5 事後学修：授業で学習した内容を復習する 情報の受容と処理 授業形態：対面 学習課題：情報の受容と処理 学習内容：脊髄と脳（続き）、脊髄神経と脳神経 事前学修：テキスト p. 371 ～ p. 383 を予習する 事後学修：授業で学習した内容を復習する 6 情報の受容と処理 授業形態：対面 学習課題：情報の受容と処理 学習内容：脊髄神経と脳神経（続き）、運動機能と下行伝導路、体性感覚と上行伝導路 事前学修：テキスト p. 383 ～ p. 396 を予習する 事後学修：授業で学習した内容を復習する 7 情報の受容と処理 授業形態：対面 学習課題：情報の受容と処理 学習内容：眼の構造と視覚 事前学修：テキスト p. 396 ～ p. 407 を予習する 事後学修：授業で学習した内容を復習する 8 情報の受容と処理 授業形態：対面 学習課題：情報の受容と処理 学習内容：耳の構造と聴覚・平衡覚、味覚と嗅覚、痛み（疼痛） 事前学修：テキスト p. 408 ～ p. 420 を予習する 事後学修：授業で学習した内容を復習する 9 情報の受容と処理 授業形態：対面 学習課題：情報の受容と処理 学習内容：脳の統合機能 事前学修：テキスト p. 420 ～ p. 432 を予習する 事後学修：授業で学習した内容を復習する 10 情報の受容と処理 授業形態：対面 学習課題：情報の受容と処理 学習内容：自律神経による調節 事前学修：テキスト p. 240 ～ p. 249 を予習する 事後学修：授業で学習した内容を復習する 11 身体の支持と運動 授業形態：対面 学習課題：身体の支持と運動 学習内容：骨格とはどのようなものか、骨の連結、骨格筋 事前学修：テキスト p. 282 ～ p. 296 を予習する 事後学修：授業で学習した内容を復習する 12 身体の支持と運動 授業形態：対面 学習課題：身体の支持と運動 学習内容：体幹の骨格と筋、上肢の骨格と筋 事前学修：テキスト p. 296 ～ p. 309 を予習する 事後学修：授業で学習した内容を復習する 13 身体の支持と運動 授業形態：対面 学習課題：身体の支持と運動 学習内容：上肢の骨格と筋（続き）、下肢の骨格と筋 事前学修：テキスト p. 310 ～ p. 323 を予習する 事後学修：授業で学習した内容を復習する 14 身体の支持と運動 授業形態：対面 学習課題：身体の支持と運動 学習内容：下肢の骨格と筋（続き）、頭頸部の骨格と筋 事前学修：テキスト p. 324 ～ p. 339 を予習する 事後学修：授業で学習した内容を復習する 15 身体の支持と運動 授業形態：対面 学習課題：身体の支持と運動 学習内容：筋の収縮、運動と代謝 事前学修：テキスト p. 339 ～ p. 355 を予習する 事後学修：授業で学習した内容を復習する
評価方法、評価基準	到達目標に対して、定期試験100%
必携図書	坂井建雄、岡田隆夫（2026）：系統看護学講座 専門基礎 解剖生理学 人体の構造と機能 1 第10版（医学書院） 坂井建雄、岡田隆夫、宇賀貴紀編（2026）：「系統看護学講座」準拠 解剖生理学 ワークブック 2026年版（医学書院）
参考図書・資料等	適宜紹介する
受講、課題、資料配布等のルール	授業中の私語を禁止する
教員からのメッセージ	形態機能（解剖生理）学は医療従事者を目指す者にとって疾病やその治療を理解するための基礎となる科目である。人体の正常な構造と機能を理解することで、正常ではない状態（疾病）への気づきを与えてくれる。

オフィスアワー	時間指定なし（予約が確実）
---------	---------------